First Hit

Previous Doc

Next Doc

Go to Doc#

End of Result Set

Generale Collection

L3: Entry 1 of 1

File: DWPI

Mar 1, 1982

DERWENT-ACC-NO: 1982-27777E

DERWENT-WEEK: 198214

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Golf ball with good rebounding characteristics - prepd. by crosslinking mixt. of unsatd. carboxylic acid, zinc oxide, dehydrating, agent and tri:methylcyclohexane blended with rubber

PRIORITY-DATA: 1980JP-0112650 (August 18, 1980)

Search Selected Search ALL

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES MAIN-IPC

JP 57037459 A

March 1, 1982

003

П JP 86018465 B May 13, 1986

000

INT-CL (IPC): A63B 37/00; C08F 279/00; C08K 3/22; C08K 5/09; C08L 7/00; C08L 9/00; C08L 23/08; C08L 31/04

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 57037459A BASIC-ABSTRACT:

Solid golf ball is prepd. by crosslinking three-dimensionally a uniform compsn. obtd. by blending 26-35 pts.wt. ethylenically unsatd. carboxylic acid, at least 15 pts.wt. ZnO, 1-5 pts.wt. dehydrating agent, and 1-8 pts.wt. 1,1-di-t-butylperoxide-3,3,5-trimethylcyclohexane as a polymerisation initiator, to 100 pts.wt. rubber consisting of (A) 85-95 wt.% polybutadiene contg. at least 35 wt.% cis-1,4 structure, (B) 1-15 wt.% natural or synthetic polyisoprene rubber, and (C) 1-8 wt.% EVA copolymer, to obtain a net-like structure. Solid core of a 2-piece golf ball is obtd. by crosslinking a uniform compsn. as above.

Golf balls having high rebounding characteristic, and good durability, exhibiting long flight are obtd.

Previous Doc

Next Doc

Go to Doc#

```
ANSWER 181 OF 198 CA COPYRIGHT 2005 ACS on STN
 L4
 AN
      97:25025 CA
 ED
      Entered STN: 12 May 1984
 ΤI
      Golf balls
      Hayakawa Rubber Co., Ltd., Japan
 PΑ
 so
      Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 5 pp.
      CODEN: JKXXAF
 DT
      Patent
 LΑ
      Japanese
      A63B037-00; A63B037-02; C08F279-00; C08K003-22; C08K005-09; C08K005-14;
 IC
 ICI
      C08L009-00, C08L007-00, C08L031-04
      39-15 (Synthetic Elastomers and Natural Rubber)
 CC
 FAN.CNT 1
      PATENT NO.
                          KIND
                                 DATE
                                              APPLICATION NO.
                                                                     DATE
      -----
                          - <del>-</del> - -
                                 -----
                                              -----
                                                                     -----
      JP 57037459
                          A2
                                 19820301
                                              JP 1980-112650
                                                                     19800818
      JP 61018465
                          B4
                                 19860513
PRAI JP 1980-112650
                          Α
                                 19800818
CLASS
                 CLASS PATENT FAMILY CLASSIFICATION CODES
 PATENT NO.
  -----
                 ----
                        -----
 JP 57037459
                         A63B037-00IC
                                          A63B037-02IC
                                                            C08F279-00IC
                         C08K003-22IC
                                          C08K005-09IC
                                                            C08K005-14IC
                         C08L009-00
                         C08L009-00, C08L007-00, C08L031-04
     Blends of 1,4-polybutadiene having >35% cis-1,4-structure 85-95, natural
AB
     or isoprene rubber 1-15, and ethylene-vinyl acetate copolymer (I)
     24937-78-8] 1-8% are crosslinked by 1-5 phr vinyl compound and 1-8
     phr 1,1-bis(tert-butylperoxy)-3,3,5-trimethylcyclohexane (I)
                                                                    [6731-36-8].
     Thus, a golf ball prepared from cis-1,4-polybutadiene 85, isoprene
     rubber 8, I 7, methacrylic acid 25, ZnO 22, a dehydrating agent 3, and II 4 parts had weight 45.6 g, compression 86%, rebound 80%, flying distance 210
     m, and a good feel, and showed no cracks after being hit 300 times with a
     3 kg weight falling 180 cm.
ST
     butadiene rubber blend ball; blend rubber golf ball; vinyl
     acetate copolymer blend; ethylene copolymer blend rubber; isoprene rubber
     blend ball; vulcanization rubber blend ball; peroxide vulcanization
     accelerator
IT
     Rubber, isoprene, uses and miscellaneous
     Rubber, natural, uses and miscellaneous
     RL: USES (Uses)
        (blends with butadiene rubber and ethylene-vinyl acetate polymer, for
        golf balls)
IT
     Rubber, butadiene, uses and miscellaneous
     RL: USES (Uses)
        (blends with isoprene rubber and ethylene-vinyl acetate polymer, for
        golf balls)
IT
     Vulcanization accelerators
        (peroxides, for rubber blends for golf balls)
IT
     Vulcanizing agents
        (zinc methacrylate, for rubber blends for golf balls)
IT
     Sporting goods
        (golf balls, rubber blends for, vulcanization of)
IT
     24937-78-8
     RL: USES (Uses)
        (blends with diene rubbers, for golf balls)
IT
     9003-17-2
     RL: USES (Uses)
        (rubber, butadiene; blends with isoprene rubber and ethylene-vinyl
       acetate polymer, for golf balls)
IT
     9003-31-0
     RL: USES (Uses)
```

(rubber, isoprene; blends with butadiene rubber and ethylene-vinyl acetate polymer, for golf balls)

IT , 6731-36-8

RL: USES (Uses)

(vulcanization accelerator, for rubber blends for golf balls)

IT 13189-00-9

RL: USES (Uses)

(vulcanizing agent, for rubber blends for golf balls)

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭57—37459

Mnt. Cl.3	識別記号	庁内整理番号	❸公開 昭和57年(1982)3月1日
A 63 B 37/00		7339—2C	
37/02		_. 7339—2 C	発明の数 1
C 08 F 279/00		7167—4 J	審査請求 未請求
C 08 K 3/22	CAM		
5/09	CAF		
5/14	CAM		•
C 08 L 9/00		6516—4 J	
//(C 08 L 9/00			
7/00			/A: - = = = = = = = = = = = = = = = = = =
31/04)		(全 5 頁)

50ゴルフボール

②特 願 昭55—112650

②出 願 昭55(1980)8月18日

@発明者花田博義

広島県府中市元町519番地の7

加発明者安達弘義

福山市瀬戸町山北730番地

加発 明 者 中島健次。

福山市東深津町370番地の3

の出 願 人 早川ゴム株式会社

福山市松浜町2丁目1番32号

個代 理 人 弁理士 杉村暁秀 外1名

明 細 書

ん発明の名称 ゴルフポール

4.特許健康の範囲

- 2 特許請求の範囲第1項配験の均一組成を三 次元額目架積せしめることにより作られた 2

3 毎日の神田か四日

本発明はポリフォジェン (A) に天然コム又は

合成ポリイソプレンゴム (B) エテレン即陳ピニル 共富合体 (C) をプレンドし、不飽和カルポン膜、 酸化亜鉛、脱水剤及び 1。1 ジー t ー プテルベルオ キシド 3。3、5 トリメチールシクロヘキサンを使 用し、高反撥性を有し、かつ耐久性の優れたソリ フドゴルフボールに関する発明である。

エナレン性不飽和カルボン酸類を使用した発明は、特別田 48-8/95/号公報、特別田 33-1/25/39 号公報等に開示され、シス 1、4 ポリプタシェンにエナレン性不飽和カルボン酸を全異酸化物でイオン製傷させたものに係る技術範囲である。とれらのソリッドゴルフボールは反撥性が劣り、打撃時の態度が軟らかく、且つ飛距離が劣る。さらにとれらのソリッドゴルフボールは耐久性、特に耐傷単性が劣る機である。

ゴルフポールの性能は飛び、打撃感触、さらに 耐久性が要求されてれらがパランスよく保たれる 必要がある。本発明はこれらの点を着々検討した 結果、エチレン性不飽和カルポン酸の酸基と酸化 亜鉛との中和反応において生成される反応生成水 を吸着脱水する脱水剤とポリプタジエン (A)、 天然コム又は合成ポリイソプレンゴム (B) 及びエチレン酢酸ピニル共重合体 (C) とプレンドされたゴムにエチレン性不飽和カルポン酸の金属塩を低温で活性化される重合開始剤 1・1 ジベー・エープテルペルオキンド 3・3・5 トリメチールンクロヘキサンを使用することにより、加熱成型時にグラフト重合させ三次元網目架橋が起き高反復性を有しなかの人性の優れた打撃時の感触の良好な良く飛ぶ全での点で満足し得るソリッドゴルフポールを提供できることを見いだした。

本発明のソリッドゴルフボールは、ポリプタジェン (A)、天然ゴム又は合成ポリイソプレンゴム (B) 及びエチレン酢酸ピニル共富合体 (C)のプレンドされたゴム分子主領にカルボン酸を酸化更鉛によつて中和生成した金属塩を重合開始剤と熱によりグラフト重合し三次元網目構造を形成せしめ架構硬化さするのであり、飲送の特別昭45~ 8/95/ 号公報に関示されるイオン架構とは明らかに異なる。

本発明についてさらに具体的に説明する。

本発明はシス1.4 構造合有量が #0 多以上のポリプタジェンであつてより好きしくは 97 多以上のシス1.4 構造を有するポリプタジェン (A) #3~95 多. 天然ゴム又は合成ポリイソプレンゴム (B) / ~13 多ごエテレン酢酸ビニル共富合体 (C) / ~4 多、 (A+B+C) /00 重量部に対してエテレン性不飽和カルポン酸としてはアタリル酸でありに数であって、好きしくはメタタリル酸であり使用範囲は好ましくは 24~30 重量部である。

/s 重量部以上の酸化亜鉛によつてメタクリル 酸を中和させ金属塩を生成する。メタクリル酸の

・中和に使われる以外の酸化亜鉛はゴルフポールの 重量調整のために使用され好せしくは 20~40 重 量部である。

メタクリル酸を酸化亜鉛で中和させ金属塩を生成する酸化生成する反応水を吸着脱水する脱水剤をノーコ 重量部使用し反応生成水を脱水させる。 脱水剤としては酸化カルシウム又は、活性酸化ア ルミニウムが好ましいものである。特に好ましい のは酸化カルシウムである。

ポリプタジェンのプレンドされたゴム、メタクリル酸の金属塩、金属塩にならなかつたメタクリル酸、かよび酸化亜鉛等の混合組成物を重合開始剤のうち低温で括性化しやすい 1・1 ジャー・ファールンクロへキサンノーと重量低、好ましくは3~4 賃量部加え、加熱により三次元網目架構させソリッドゴルフォール及び2ビースゴルフォールを存るものである。

本発明によるソリッドゴルブポールは次の後に し作成される。まず (A+B+C)のプレンドされ - たゴムと演覧に調整された酸化亜鉛と脱水剤とを100~120℃の温度で約10分間よく洗練し、酸化亜鉛と脱水剤が(A+B+C)のプレンドされたゴムによく分散された状態へメタクリル酸を気応された大意へメタクリル酸を反応させ金属塩を生成せしめる。その役 40で以下に冷却したさキシングロールで1、100~1~ブテルペルオキシド3、3、5トリメテールシクロヘキサンを添加し物ーになるまで約ま分間温練する。とうして得られたゴム組成物を所留の径に合つたモールドで加熱、成型し架構硬化させてワンピースソリッドゴルフォール及びコピースツリフドゴルフォールとで得る。 架構温度は1300~1700で平く時間は10~20分間である。

以下本発明を実施例によつで詳細に説明する。 例中の配合はすべて重量部(以下単に都という) で示し、特性値の測定は次の条件で行なつた。

圧縮値は Assets のコンプレッションテスターを 使用し指示値を得た。

特開昭57-- 37459(3)

反接性はゴルブポールを /30 四の高さから厚み ま四の鉄板上に自然落下させそのときのはねかえ りの高さをラで示す。

飛距離は男子プロゴルファーがウッドノ番クラ プを用いて打つたときの平均飛距離を測定した。 税距離の制定はポールの客下した地点をそのポー ルの飛匠館とし、空中飛距離(キャリー)のみで表 わす。

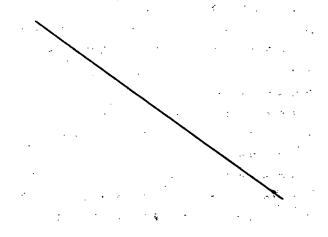
耐久性は重量よりのおもりを180年の高さから 自由落下させポールに衝撃を与えポールの表面に クラックの発生するまで繰り返し、その繰り返し の回数を制定して示す。

実施例1~5、比較例1~5

実施例1~3は表-1に示す配合で、(A+B +C)がプレンドされたゴム中で酸化亜鉛にメタ クリル酸を反応せしめメタクリル酸亜鉛塩を作り、 重合開始剤と熱でゴムにグラフト重合させ三次元 親目構造を形成せしめ架橋した直径 42.5 mm のラ ージサイスの!ピースソリンドゴルフォールであ つて成型条件は /38でで /3 分間であつた。

上敷例1は表 - 1に示す配合で、ポリプタジェ ンに重合開始剤とメタクリル酸を加えたのち酸化 産船と充填刻としてシリカを加え、熱硬化させ度 径 42 mm のラージサイズの!ピースソリフドゴ ルフポールを得た。との場合の成型条件は /20で で30分間であつた。

比較例2.5は表-1に示す配合でメダクリル 機の使用量を変えて実施例1~5と同様に作られ



	1.	**	1.		- 実、	
· .	•	•		- 1	4	

		奥、	施	例	比	軟	~ 例 ~ · · ·
		1	2	3	1	2	3
	シス1,4ポリプタジエン (部	85	90	95	100	85	85
£	イソブレンゴム (天然ゴム). (部		6	3	-		
	エテレン間似ビニル共皇合体 (部	7	#	2	_	7	7
	メタクリル酸 (部) 25 E	30	33	/8	18	. 40
	碳化重鉛 (部	2.2	22	22	10	22	22
	脱水剂 (都) 3	3	3	_		3
•	1,1ジーセープチルベルオンド 5,3,5 + リメチールンクロ (部 ヘキサン) #	# _	#	-	*	
ŧ	ジクミルベルオヤンド (部	1 -	_	_			_
	シリカ(光填料) (部) <u> </u>	· -	-	33	-	_
	ポール重量 (グラム)	#3.4	45.6	43.6	#3.7	45.7	45.5
47	压 籍 催	86	95	100	67	38	/00 以上
	反 撥 性 (\$)	80	8/	79	60	F.2	76
性	飛距離 (ノーター)	2/0	2/2	2/0	192	180	204
4	打攀藤族		. 良好 300以上	良好 300以上	軟らかすぎる	味らかすぎる	使すぎる
_	耐久性 (直教)	クラックなし	クラックなし	クラックなし	280	/55	270

特開昭57- 37459(4)

表 - 1 から明らかをように実施例のゴルフポールは反撥性が良く飛距離が長く打撃感触も良好で 且つ耐久性の非常に優れ金べての機能を満足する 良いゴルフポールであることがわかる。

これに対し比較例1のソリッドゴルフポールは 反撥性、飛距離が実施例より劣り、打撃感触が軟 らかすぎる。

比較例2。 8 はメタクリル酸の使用量が特許 求の範囲外であつてメタクリル酸の使用量が少ない場合、非常に軟らかいゴルフボールとなり飛び 耐久性の悪いポールである。又、逆にアクリル酸 の使用量の多い場合は硬すぎて打撃感触の悪いゴ ルフボールとなる。

突施例4~5.°比较例4~6

実施例 4 は次に示す配合で直径 41.3 mm のスモールサイズのソリッドゴルフボールを実施例 1 ~ 3 と同じ方法で作られたものである。

実施例 5 は次に示す配合で直径 38.7 mm のユピースゴルフポールソリッド芯を実施例 1 ~ 5 と同じ方法で作り、この芯に厚み 2 mm の外皮を被憂し

ユピースソリッドゴルフポールを得た。外皮の材料としては三井ポリケミカル社製のヘイミラン 1704 を使用した。これらの特性値は表 - 2 に示す。

· ·	突施例 5	突施例 6
シス1, 4ポリプタジエン (部)	70	70 .
イソプレンゴム (合成ポリイソプレン ゴム) (部)	€.	4
エチレン酢酸ビニル共重合体(部)	*	a.
メタクリル酸 (部)・	28	28
酸化亜角 (部)	#5	40
脱水剤 (部)		3
1、1・パー・t ープテルペルオサンド 5、5、5トリメテールシクロへオサン (部)	. #	*

比較例4は市販のラージサイズの!ピースソリッドコルフポールである。

比較例5は市駅のスモールサイズの!ピースソリッドゴルフボールである。

比較例もは市駅のラージサイズのユピースソリッドゴルフポールである。

- - -	2	42.7	45.7 #5.7	₹ नात <i>००।</i>	22 12	13	30 3/3	-メソリン /ピーメンリン ルフボール ドゴルフボール
老		4/.3	43.6	06	£.	7/6	13000	ノビースソリッ コピースソリン

手続補正書

昭和 \$ 年 10 月 6 日

特許庁 無度 為 田 孝 智 殿

1. 事件の表示

昭和 53 年 7 特 許 函 係 //2630 号

2. 発明の名称

ゴ・ル フ ポ ー ル

3. 補正をする者 事件との関係 特許出願人

平川ゴム界気会社

4. 代 理 人 〒100 東京都千代田区蔵が開3丁目2書4号 質 山 ピ ル デ ィ ン グ 7 附 電話 (581) 2 2 4 1 書 (代表)

> (\$25) 弁理士 **杉 村** 暁 秀詩 外 1 名

5.

- 6. 補正の対象 明細書の発明の静韻な説明の標
- 7. 補正の内容 (別紙の通り)

表 - 2 から明らかなように本発明で得られるソ リッドゴルフポールは高反接件であり、飛びも優れ、且つ耐久性の優れた高強度のゴルフポールで ある。

特許出頭人 早川 ゴム株式会社

代理人弁理士 杉 村 晚 寿 信号

同 弁理士 杉 村 男 作

- ・A.明朝書館《資館を行の『ゆる』を『おる』に訂正する。
- 2 関第 // 夏の表中「実施例 5 」を「実施例 4 」に、 「実施例 6 」を「実施例 5 」に訂正し、 同表中右側の実施例 6 の中役後化亜鉛の項「60」 を「32 」に訂正する。
- 3.同第13頁の表中左側 / 行目「ボール返径(メリ メータ~)」を「ボール直径(ミリメータ)」に 訂正する。



代類人分理士 杉 村 乾 第 / 理科 外1名: 古村 印刊